

ごみ減量だより

発行：稲城市廃棄物減量等推進員連絡協議会

<第4号>

<平成24年4月発行>

エコキャップ運動を進めています！

～大丸地区推進員活動報告①～

大丸自治会では、平成21年から稲城第三小学校の4組(特別支援学級)を通じて、回収したペットボトルのキャップを業者に引き渡しを行ってきました。スタートからこれまでの累計は下記の個数になりました。このため、世界の子どもたちに7クチンを贈ることができ、併せて、CO₂の削減にも寄与することができました。回収ボックスは大丸自治会館脇、大丸地区会館玄関裏、第三小学校内に2基と、大丸地区内に4基を配置しています。お持込みをなさる方は、大丸自治会館または大丸地区会館の回収ボックスをご利用下さい。

～累計実績～

個数：596,840 個
7クチン：746.1 人分
CO₂削減：4,700 kg



ペットボトルキャップを回収することで、多くのCO₂の発生を抑え、7クチンを送ることができます！！

アルミ缶とフリトップを回収して、車椅子を寄贈！！

～大丸地区推進員活動報告②～

稲城市立稲城第三小学校では、環境委員会(5・6年生)活動として、アルミ缶とフリトップを回収しています。回収した資源から得られたお金で、車椅子を購入し稲城市社会福祉協議会に毎年寄附してきています。

平成23年は1台寄付しました。

また、第三小学校PTAでは環境活動の一つとして、平成22年度から上履きの底のゴムを回収し、資源再生(リサイクル)運動に取り組んでいます。



※(写真提供)稲城市社会福祉協議会

自分たちの街は、自分たちで作ろう！
自治会にご加入下さい

みんなの力で生ごみを減らそう！

ご存知でしたか？

- 生ごみを捨てる時には「ぎゅっ」としぼって水分を減らすだけで
1. ごみの減量(今までより小さなごみ指定袋で捨てられます。)
 2. 二酸化炭素の発生量の減少(少ないエネルギーで処分できます。)
 3. 臭いの減少(水分が少ないと臭いが出難いです。)

以上3つの効果があります。

また、ごみの重量の減らすことはごみ処理経費の削減にもなります。

皆さんもしぼって、ごみの減量してみませんか？

市では、ご家庭から生ごみをなくせる生ごみ処理機の助成を行っていますので、興味のある方はお問い合わせ下さい。



燃えるごみ・燃えないごみでは出せません

◆スプレー缶 中身無くても 有害物で

ライターやスプレー缶など引火性の強いものが分別されずに燃えないごみに混入して出されると、車両火災を引き起こし、周辺一帯を巻き込んだ大惨事に繋がるおそれがあります。特に中身が残ったままのライターやスプレー缶、カセットボンベは非常に危険です。無理にガス抜きせず、中身が残っている事を、袋に表示して出して下さい。



◆乾電池 蛍光管も 有害で

電池類や蛍光管には、水銀を始めとする吸引すると人体に悪影響を与える金属が使用されています。これらのごみが分別されずに燃えないごみに混在していることが多くあります。ごみを出す際は、今一度、有害物が残っていないかを確認して下さい。

<混在例>

- (電池)・リモコン・おもちゃ (蛍光管)・水槽・勉強机
- ・電話機(子機)・ラジカセ 等 ・照明器等

※ ポリタンクを捨てる時は、中身を空にしてから燃えないごみとしてお出し下さい。

～なしのすけからのお願い～

ごみを出す際は、3月下旬より各戸配布しているごみ・リサイクルカレンダーを参考にして下さい。まだお手元に届いていない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。お手数をおかけしますがよろしくおねがいします。

